

自分を漢字一文字で表現するとしたら、「珍」という漢字を選びます。めずらしいこと、奇妙なことという意味で、よく変わっているねと言われる自身にぴったりな一文字だと考えます。ですが私は大勢の場で自分の意見を言えず、心の内にある「珍」を曝け出すことがなかなかできません。誤ったことを言ってしまうのではないか、発言しても拒絶されてしまうのではないか、と他人の評価を気にし、自身を表現することを恐れてしまいます。

しかし、高校に入学してそんな自分は一気に変わりました。それは常識にとらわれない担任や、突飛な意見を肯定してくれたクラスメートのおかげです。私が在籍していた特進コースは、1クラス17人。他のコースに比べ少人数で、みな個性が爆発しており、それぞれのアイデンティティに誇りを持っています。また、前述した担任の下で、価値観の違いを尊重する学びをしてきました。そのような環境下において、今まで否定的に考えていた周囲とのズレを自分自身認めるようになり、「これは私の個性だ」と胸を張れるようになりました。

私は指定校推薦で APU（立命館アジア太平洋大学）に行きます。日本では従来に比べ、多様性理解が広がってきました。が、それでも世界的にみるとまだまだ保守的です。APU は海外留学生が多く、「他人と違うことを認める」を理念にしています。高校時代に学んだ多様性を生かし、大学では国内だけでなく世界にも目を向けた相互理解について考えたいです。